



工事事務所 事故対策通信

～工事関係者の負傷事故が発生しました～

Vol. 48

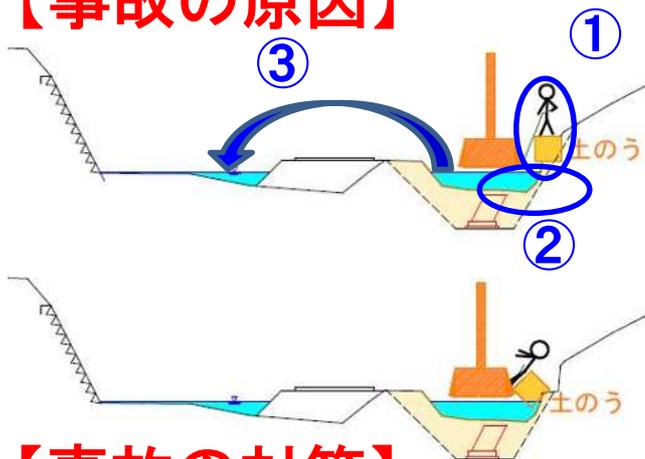
令和6年5月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事務所 合計	令和6年5月現在
	件数	1件	1件	0件	0件	

埋没した水中ポンプを探るため掘削していたところ、大型土のうが崩れた。大型土のうの上で作業していた作業員が、近くにあったバックホウのバケットと崩れた土のうとの間に両足を挟まれ負傷した。



【事故の原因】



- ① 作業手順に従わず転倒又は滑動する恐れがある大型土のうの上に乗っていた
- ② 土のうを不安定にする作業をした
- ③ 水中ポンプが埋まって濁水を排除できず、大型土のうの安定を確認しなかった

【事故の対策】

当初計画した作業手順と異なる状況になったら作業を中止する。

危険箇所を確認して安全確保を第一とし作業手順を見直す。作業員に作業計画を周知して作業を再開する。

- ① 掘削しているところの大型土のうの上に乗らない
- ② 不安定になる大型土のうを先に撤去する
- ③ 別ポンプで濁水の排除を行い、大型土のうの安定を確認する



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL : 0538-42-3216
Mail : fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

